

[年金]

西村様：

ご協力ありがとうございます。「破綻」を現実的なものとして視野に入れるといろいろな点に関心が向きます。以下の各点についても可能であれば言及していただければ幸いです。最初の3頁までが今回のテーマに関わります。

いずれも簡単ではありませんし、これから検討すればよろしいと思います。西村さんに比較優位がある論点を取捨選択して、関心がある論点・問題に絞って、あるいは重要と思われる論点を中心にお話してください。当方の希望としては、まずは(1)について言及いただき、(2)～(4)については、簡単な感想だけでも結構です。

よろしく申し上げます。

三輪芳朗

(1)財政「破綻」と年金

- ・年金と財政（政府）の関係？——現状？——政府の実質的 **commitment** はどのようなものと理解されているか？——最終的な支払保証者？——それが実現できるように収入を確保し、それでも不足なら政府が財政から補てん・・・と加入者は理解している？——イザとなれば顕在化してくる暗黙の了解（これを拒絶・否定すれば政権は崩壊）？——年金の「統合」はその一環？——「見直し」「切り下げ」も同様？
- ・時点 T までに何らかの変更がある・・・可能性？——まさか、政府が突き放す・・・ということはない？——そんなことをしたら、その時点で「破綻」？
- ・時点 T で国債価格が大幅に下落すると、政府の財政破綻のおそれが現実的なものとなる。——そうすると、政府と年金の関係はどのように変化するか？年金が影響を受けるのは、「破綻」プロセスの最後の段階？
- ・時点 T における政府の対応？——可能な **scenarios**？
- ・この点を想定する人々（全員である必要はない）の、時点 T、さらにそれ以前の時期における、反応・対応はどのようなものか？
- ・加入比率の低下？支払者の比率の低下？若い人たちの比率低下がとりわけ著しい？
- ・一方で、老後に備えた貯蓄の増加？——（消費減・・・によるデフレ？）
- ・国債や年金以外の資産への資産配分の変更？——海外や土地・貴金属など？
- ・このような状況下での「年金制度の充実」論議の受け止め方？——家計・「専門家」(?)の一般的な受け止め方、さらに西村さんの受け止め方？
- ・たとえば、20年後の「年金」の支払い水準と財政状況の見通し？——これも時点 T より

前だとしよう……。——算定・計算の前提・想定。——複数の想定を置く必要性？——その際の注目点は？

- (2) 年金は、積立から受取までの期間が長いこともあり、「破綻」に関する国民の関心（不安）がとりわけ顕在化しやすい？——国民（投資家・消費者）の関心（不安）、心理、認識、反応などの行動を見るうえで、有効な注目点？——ここに各種の **signals** が表れる？
- ・「長期ビジョンを示せ」とする要求の強さは、「大丈夫か……？」「払込金額は十分に返ってくるか？」「制度は本当に維持可能か……？」などの不安がすでに広く流布していることを示唆する？——「長期ビジョン」として何を示すことが必要か？どのような「長期ビジョン」が不安払拭に有効か？本当に有効か？有効なもの（手段・形態）があるのか？
 - ・国民年金の加入者比率、掛け金の納入率などの（低）水準及び趨勢的低下傾向は、その象徴？——具体的内容？
 - ・年金で受け取るよりも、前倒して、退職一時金、さらに現役時代の給与として前倒しして受け取る……という選択肢はあるか？——厚生年金基金までいずれ（「国民年金」に）統合され（実質的に支払額を削減され）るという不安が顕在化すれば、その前に基金を解散？段階的解消？（——もっとも、このあたりについては、三輪が制度を知らないから、いいかげん？）——重要なのは、「事前の対応がどこまで可能か？」という点。
- (3) たとえば、年金税に転換して強制的に納入させる（徴収する）という対策は有効か？
- ・“normal times”ではなく、将来の「財政破綻」が国民の話題として浮上し始めている状況では、全体への波及を早めるだけ？
 - ・税源を明記して目的税化して……ということも同じ？
 - （・“normal times”でも、incentives の有用な機能を阻害する……？）
- (4) ここまでくると、年金制度の充実は、return の低い（マイナス？）の project の拡大・拡張であり、強制加入は参加強制（強要？）と実質的に同等に見えてこないか？——さらに、増税の前倒しと実質同じ？
- ・年金基金に国債を買わせている（売却は実質的に可能？）……のは、さらにその上前をはねること？——loss の発生の一部は国債の目減りによるが、残りは年金自体の破綻（目減り）による？
 - ・支払い（払い戻し、満期）までの時間が長いから、譲渡不能の超長期国債の強制購入のようなもの？——国民運動としての年金加入率の上昇を目指すのは、戦時中の戦時国債購入運動のようなもの？
 - ・このような事態を予想して年金加入・支払いを躊躇する（拒否するという選択をする）国民に、加入を強制するのは……？——ネズミ講への加入勧誘・強制のようなもの？

(受益者は団塊世代以上の高年齢層と制度を当面維持することを望むもの、たとえば、政治家・官僚・実務家・メディア関係者など?)

- ・もともと、これを実施すると、それ自体が **signal** となって、実質的な抜け道利用、**hedging activity** を増やす?